

3. 基幹防除薬剤

(1) コシヒカリ（出穂7月29日頃）

体系	散布時期	対象病虫害	薬剤名	使用量 10a 当たり	散布時期の 目安	本剤の 使用回数	注 意 事 項
粒 剤 防 除	1回目	いもち病 カメムシ類 縦枯病 ウンカ類 他	イモチエース スタークル粒剤	3 kg	7月20日 ～24日	1回	使用時期： 収穫35日前まで
			ワイドパンチ豆つぶ	250g		1回	使用時期： 収穫35日前まで
	2回目	カメムシ類、ウンカ類 ツマグロヨコバイ	スタークル粒剤	3 kg	8月3日 ～8日	3回以内	使用時期： 収穫7日前まで
			スタークル豆つぶ	250g			
液 剤 防 除	1回目	いもち病 カメムシ類 縦枯病	①ビームエイト スタークルゾル + ②バリダシン液剤5	①60～150L (1000倍) ②60～150L (1000倍)	7月27日 ～31日	①3回以内 ②5回以内	使用時期： ①収穫7日前まで ②収穫14日前まで
	2回目	いもち病、カメムシ類 ウンカ類、ツマグロヨコバイ	ビームエイト スタークルゾル	60～150L (1000倍)	8月3日 ～8日	3回以内	使用時期： 収穫7日前まで

4. 出穂以降～刈取直前までの水管理

- (1) 出穂から開花期は、水分補給を目的に湛水状態（花水）とする。
- (2) 開花期以降は、2～3日おきの間断通水により、飽水管理を行い、根の活力を維持する。
- (3) 間断通水では、地温を下げる夜間入水が効果的。
- (4) フェーン現象等の異常高温・強風が予想される場合はあらかじめ通水する。
- (5) 少なくとも刈取3～4日前までは間断通水を継続し、高温登熟の場合は刈取直前まで通水する。

5. いもち病の発生に警戒

梅雨入り後、いもち病が発生しやすい日が続いています。
箱剤無施用、葉色が濃い場合は要注意！！



いもち病の病斑